

# 営業部会

## 第37回定期委員会

営業部会は9月13日、東京地本会議室において「第37回定期委員会」を開催し、全体で50名を超える仲間が集まりました。

5月の社長会見を受け、営業部会は職場から出された声をもとに申21号「みどりの窓口の縮減の一日凍結に関する申し入れ」の団体交渉をつくり出し、業務に専門特化した部会の視点から議論してきたことを定期委員会の場で総括してきました。

委員からの発言では「融合と連携」により各地方で発生している事象や、会社施策に対して未加入者も巻き込んだ議論から交渉をつくり出した実践等の職場でのたたかいの報告、会社の経営姿勢に現れている一部管理者によるハラスメントの事象、社員の不祥事による職場規律の課題などが議論されました。

今回の定期委員会には、会社からの20日間の出勤停止処分を受けた上に不当な出向命令が出された八王子地本の仲間も傍聴で参加し、この間の加入に至った経緯とこれからのたたかいに向けた決意が述べられ、参加者全員で取り組んだ旗手を手渡ししました。

営業部会は組合員と本来業務のあり方を職場議論からつくり出していくことも、営業職場から組織強化・拡大を進めていくことを参加者全体で確認し、成功裡に終了しました。



新役員体制(三役のみ・敬称略)

部会長	鴨志田 淳	横浜
副部会長	道又 鉄人	盛岡
副部会長	武井 基	大宮
副部会長	平田 正広	横浜
事務長	遠藤 慶宣	大宮

# 運輸車両部会

## 第32回定期委員会

7月27日、さいたま市民会館おおみや(レイボックホール)において「第32回定期委員会」を45名の結集のもと成功裡に開催しました。

14名の委員からは、乗務員職場での「要員不足によって、決められたことが守られていない」「必要な教育が受けられていない」「不安を抱えたまま仕事をしている」「検修職場での「会社施策で慢性的な要員不足となり、業務が逼迫」「人も技術力も育っていない」、事務の仲間からの「職場が変化する中で事務のあり方」など、施策実施による職場の課題や安全問題、要員問題などが発言されました。また、未加入の仲間との関わりづくりと組織強化・拡大、安全議論などの実践について教訓的な発言がありました。そして、宇都宮運輸区分会・原瀬さんのパワハラ労災認定に向けて部

会を取り組んだ支援カンパを、大宮の仲間を手渡しました。

運輸車両部会は、仲間と連帯し職場の業務課題の検証を通じて「安全・健康・ゆとり」ある職場と組織をめざし、取り組みます。



新役員体制(三役のみ・敬称略)

部会長	三ヶ田好幸	盛岡
副部会長	堀江 宏隆	大宮
副部会長	工藤 厚	盛岡
副部会長	佃 力也	大宮
事務長	伊藤千恵蔵	盛岡

# かんり部会

## 第39回定期総会

かんり部会は9月6日、本部会議室にて「第39回定期総会」を総勢24名の参加で開催しました。

石川部会長からは「JR東日本の現状について」「JR東労組の今後について」を提起し、先輩達から「安全だけは絶対に守ること」と言われたことをこれからは忘れないようにとの力強いメッセージがありました。

総会では一年間の成果と課題を議論し、部会員からは「不当な異動懲罰と脅しのようなハラスメントに強い怒り。これからまたたかう」「タブレットにJETS熱海派出の委託解消のメールが来たが、働く人がいるのに不安だ」「八王子では2名退職で私も来年、退職となってしまおう」「レクが楽しく、また集まれる場を作ってほしい」「会社からの組織攻撃には、組織

強化・拡大が重要だ。労働組合がなめられてはいけない」「会社に対しておかしな思いや未加入者(社友会)の管理者は少なからずいる」等の熱い発言がありました。

今後も先輩方が創り上げた「かんり部会」を残すため、原点を認識し、不当労働行為・ハラスメントを許さず、「血の通った人の心、母の心でかんりする」ことを心に刻み、ブレることなく愚直にまっすぐな気持ちで「安全・健康・ゆとり」のある職場を私たちが創り上げること、組織強化・拡大をかんり部会員で推し進めることを決意し、山本部会長による新体制を確立して成功裡に終了しました。



新役員体制(三役のみ・敬称略)

部会長	山本 政広	横浜
副部会長	戸羽 貴憲	盛岡
事務長	真中 宏和	大宮

# きかく部会

## 代表者総会

7月28日、仙台地本会議室において「きかく部会代表者総会」を開催し、8地方から16名が集まりました。

きかく部会が一年間取り組んできた代表者会議、系統別意見交換会、きかく部会勉強会の成果の報告と、各地方からは若手組合員や未加入者との関わりづくりの成果、組織再編による苦悩・疲弊について報告がありました。そして、「変革2027」の発表から中間点が過ぎる中、会社はどう変わったのか? コロナ禍を経て社会はどう変わったのか? 18春闘の大敗北からJR東労組はどう変わったのか? それらを見据えた上で環境の変化や新たな価値観への対応をどうしていくと呼びかけました。

今後も①経営の安定に寄与するのか、②労働者やお客さまの安全は担保されるのか、③社員の働きがい・やりがいは向上す

るのか、この3点を検証視点とし、未加入者との接点を持ち、JR東労組喫緊の課題である組織拡大を進めていきます。最後は仁戸田部会長の団結カンパローで向こう一年の活動のスタートを切りました。



新役員体制(三役のみ・敬称略)

部会長	仁戸田 茂樹	八王子
副部会長	田中 美樹男	東京
事務長	関根 巖	東京

# 工務部会

## 第36回定期委員会

8月3日、さいたま市民会館おおみや(レイボックホール)において「第36回定期委員会」を37名の参加で開催しました。質疑では8名の委員から発言があり、墜落死亡事故を含む命を奪いかねない待避遅延・感電・墜落が相次ぐ中、安全問題、要員不足、職場での組織強化・拡大の実践について多く語られました。

総括答弁では、例年にならない酷暑で大変な苦勞の中、熱中症を予防しながら安全作業に徹することや、事故の連鎖が止まらない中、私たちの安全の原点である山手貨物線触車死亡事故が風化していないか立ち返ること、若手の離職率も高まる中、系統別意見交換会を通じて会社施策に向き合い、「安全・健康・ゆとり」のある職場づくりに向けて奮闘することを確認しました。

工務部会は新たな体制のもと「命は最大の価値基軸」を前提に、安全文化・安全哲学の再確立と、職場からの運動を原点に「明るく・楽しく・元気よく!」一歩前に出られる部会運動を組合員と共につくり出していきます。



新役員体制(三役のみ・敬称略)

部会長	杉本 博輝	大宮
副部会長	七海 勝彦	仙台
副部会長	川崎 怜	盛岡
副部会長	伊藤秀一郎	大宮
事務長	齊藤 誠	大宮

# サークル協議会

## 第35回定期総会

サークル協議会は8月20日、東京地本会議室にて「第35回定期総会」を開催し、各サークルと各地本代表者の総勢41名が参加しました。

午前中は、部長会議を開催し、情勢の一致とサークル全体の強化・組織拡大について議論したほか、サークル協議会から「サークルフェスティバル(仮称)」の開催を提起し、継続して議論することとなりました。

午後の「定期総会」では、全参加者で宇都宮運輸区分会の原瀬さん、八王子地本の秋山さん、JR総連近畿地協議長の津崎さんへの「檄」を取り組み、代表者の方に手渡しました。

山岳部・神山部長が議長を担い、質疑では17名から発言いただきました。ソフトボール部・山岸部長からは、4年ぶりのソフトボール大会の開催と、再建総会にて新体制を確立したことが述べられたほか、絵

画部の会田副部長からは、二科展の鑑賞イベントを企画していること(9月上旬開催)や、再建に向けた決意が語られました。多くのサークルで大会・総会・例会に向けて議論を深めています。

今後も明るく・楽しく・元気よく、サークル活動の飛躍を通じて組織強化・拡大を実現することを全員で確認しました。サークル協議会は最前頭で取り組みます。



新役員体制(四役・敬称略)

議長	川島 淳	大宮
副議長	石戸 亨	仙台
副議長	野中 広俊	八王子
副議長	伊藤 彰英	盛岡
副議長	中島 匡	仙台
事務局次長	新田 英二	大宮
事務局次長	重久 拓也	本部
事務局次長	大竹 一輝	本部